

島根大学研究見本市

天然物由来の精神神経疾患・生活習慣病予防・改善物質の探索 The research of natural substrates that prevent and/or ameliorate neuropsychiatric illness and lifestyle-related diseases

研究者紹介

橋本道男 (医学部・特任教授)
Michio Hashimoto (Faculty of Medicine, Associate professor)

共同研究者:

片倉賢紀 (医学部・助教)、田邊洋子 (総合科学研究支援センター・技術専門職員)、山下一也 (島根県立大・副学長)、加藤節司 ((社医)仁寿会加藤病院・院長)、Shahdat Hossain (Jahangirnagar Univ., Professor)

概要

認知症・うつ病などの精神神経疾患や生活習慣病は、健康で豊かな社会を構築するために早急に克服すべき疾患であります。我々は、在宅中高年齢者や介護施設居住高齢者を対象とした疫学調査や介入試験を行い、さらには生活習慣病や認知症などの疾患モデル動物や培養細胞を用いて、生活習慣病と認知症などの精神神経疾患を予防・改善する天然物由来作用物質を見つけるための研究を行っています(下図)。Neuropsychiatric illness, such as dementia and the depression, and lifestyle-related diseases are the deleterious diseases that must be overcome immediately to provide aging society with a rich and healthy quality of life. With epidemiological and interventional studies, lifestyle-related diseases or dementia animal model, and cultured neuronal cells, we are conducting to find novel natural materials that protect against and attenuate lifestyle-related diseases and neuropsychiatric illness.

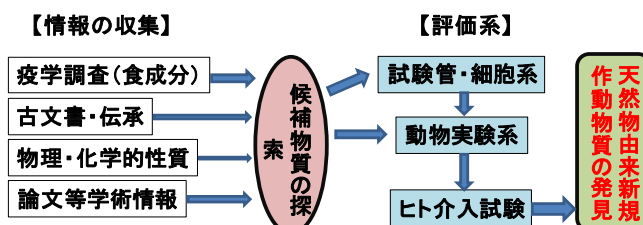
特色 研究成果 今後の展望

【特色】地域の活性化を根幹に置き、副作用のない天然物由来機能性物質の探索を目指した基礎・応用研究であり、島根県のみならず、東南アジア諸国の産業振興を最終目標としています。そのため島根大学だけではなく、島根県立大学、バンガラデシュのジャハンギルナガル大学などとの共同研究プロジェクトであります。

【研究成果】

- 1) 島根県中山間地域の活性化を図ることを目的として「エゴマ種子と葉」の機能性を明らかにし、その応用として、 α -リノレン酸強化鶏卵「えごま玉子」を開発しました。この「えごま玉子」は地域振興への貢献により、平成21年度島根県の「安全で美味しい島根の特産品」第一号に認証され市販されています。
- 2) 1997年から開始したEPAとDHAに関する研究は結実し、平成24年に厚生省から医薬品名「ロトリガ」(武田薬品工業)として許認可・製剤化され、医療機関で処方出来るようになりました。

【今後の展望】本研究の手法は、医薬品や機能性食品の開発・販売、さらには国際共同研究のモデル研究をして今後も活用されると思います。



探索からヒト介入試験まで一貫して我々グループで行うことができます

キーワード

認知症、精神神経疾患、生活習慣病、n-3系脂肪酸、エゴマ、中山間地域活性化、医薬品、機能性食品、天然物由来生理活性物質

リンク

www.crc.shimane-u.ac.jp/res-pr/seeds/med/med3/med005.pdf#search